

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025年8月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

2025年8月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**142.8**となり、前月比+0.1%(+0.2ポイント)と**9カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.7%(+3.7ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が**141.9**となり、前月比+0.1%(+0.2ポイント)と**9カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+2.1%(+3.0ポイント)となった。**建築補修**は**139.6**となり、前月比+0.0%(+0.0ポイント)と**9カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.1%(+4.3ポイント)となった。**土木部門**は**146.1**となり、前月比+0.3%(+0.4ポイント)と**2020年6月以降63カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+3.5%(+4.9ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年9月～2025年8月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与 **【紙・木製品】** 建設用木製品（内装用ボード類）
製造コストの増加を要因に大手メーカーが打ち出した値上げが浸透し、プラス動向に寄与

【窯業・土石製品】 レディミクストコンクリート他
一部の都市において、生コンクリートやセメント等の建設主要資材の価格上昇が指数のプラス動向に寄与

マイナス寄与 **【鉄鋼】** 異形棒鋼・H形鋼
需要減少による販売店間の受注競争の継続に伴い市況が統落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



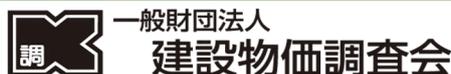
3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記の要因のほか、全国的な燃料油の価格上昇、一般機械のポンプ類の値上がりなどが指数動向にプラス寄与した。

都市別に見ると**【那覇】**(前月比+1.0%)では、原材料費や輸送費、プラントの維持・修繕費や人件費など、全般的な製造コストの増加を背景とした生コンクリートの値上げが浸透し、指数動向のプラスに大きく寄与した。

【仙台】(前月比+0.2%)では、原材料費や輸送費といった製造コストの増加を背景としたコンクリート製品の値上げが、指数動向のプラスに寄与した。**【広島】**(前月比+0.2%)と**【福岡】**(前月比+0.2%)では、製造コストならびに輸送コストの増加を転嫁したセメントの値上げが指数動向のプラスに寄与した。

各地の建設総合部門の指数【2025年8月分】



【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL : 03-3663-7235 E-mail : econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL : 03-3663-3892 E-mail : toukatsu@kensetu-bukka.or.jp